

白山でのルールとエチケット

白山は日本の法律に基づく特別な規制下で保護されている国立公園です。個人の安全を守り、公園の自然資源を保護するために、以下のルールを守ってください。

登山前に、オンラインまたは登山口で登山届を提出してください。

緊急避難小屋ではキャンプをしないでください。避難小屋は医療や天候による緊急時のみに使用されます。

夜間の登山はしないでください。

登山道で自転車に乗ったり、走ったりしないでください。

ペットやドローンを公園内に持ち込まないでください。

指定された登山道を外れないでください。

公園内の動植物や岩などを持ち帰らないでください。

野生動物に触ったり、餌を与えたりしないでください。

登山者が登っている場合は、道を譲ってください。

持ち込んだものはすべて持ち帰ってください。ゴミ箱はありません。

外来植物の拡散を防ぐために、用意された種子除去マットで靴の汚れを落としてください。

白山をきれいに保つために

白山は 1962 年 11 月 12 日に国立公園に指定されて以来、訪れる人々が急増しました。

しかし、ゴミ処理設備が十分でなかったため、山はすぐにゴミで溢れました。1973 年には、地

元住民がゴミ袋を配り、登山者にゴミを持ち帰るよう呼びかけました。翌年には公式な清掃活

動が開始され、1976 年には白山国立公園で「持ち込み、持ち帰り」の方針が制定されまし

た。それ以来、白山は日本で最もきれいな山の一つとなっています。